

★理論的な側面よりも統計分析手法の使い方や分析結果の直感的な意味の理解を重視し、手を動かす分析を経験することで理解を深める！

データ分析と統計解析の基礎、実務への活用 ～Excel演習付き

1名分料金で
2人目無料

【LIVE配信/アーカイブ配信】 セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2504117>

- ◆日時: 2025年04月16日(水) 10:30～16:30
- ◆アーカイブ配信: 4/17(木)～5/1(木)期間中何度でも受講可能
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**(税込)へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】
日本工業大学 先進工学部 データサイエンス学科
教授 桑野 文洋氏

【講演趣旨】 ビッグデータ時代と呼ばれる現在、ビジネスにおいて様々なデータを分析し、客観的な判断を行うデータサイエンスの重要性が高まっています。

この研修では、データサイエンスの実践に必要な統計学の基礎知識を学びます。ビジネスにおけるデータ分析や統計学の役割を理解した後、①集団の傾向を分析するための基本統計量、②異なるデータ間の関係を分析したり、その関係に基づいて予測するための統計手法、③分析結果を理解するための可視化、④ビジネス現場での実務応用、とりわけ品質管理への応用について学びます。

統計学は確率論をはじめとする数学的な理論に基づいていますが、本研修では統計学の理論的な側面よりも、統計分析手法の使い方や分析結果の直感的な意味の理解を重視します。

また、Excelを多用した演習を盛り込み、手を動かす分析を経験することで理解を深めます。

1. ビジネスにおけるデータ分析や統計学の役割
 - 1-1 データと社会, データ分析に関するエピソード
 - 1-2 企業活動とデータ
 - 1-3 データ分析による問題解決
2. 集団の傾向を知るための基本統計量と可視化
 - 2-1 統計学とは
 - 2-2 基本統計量
 - (1)平均 (2)中央値と最頻値 (3)ばらつきを表す指標
 - 2-3 データの種類
 - (1)質的変数 (2)量的変数
 - 2-4 データの可視化
3. データ間の関係を分析し、予測する分析手法
 - 3-1 散布図
 - 3-2 相関分析
 - 3-3 単回帰分析
 - 3-4 重回帰分析
 - 3-5 時系列分析
4. 品質管理への応用
 - 4-1 品質管理における統計分析
 - 4-2 管理図
 - (1)計量値の管理図 (2)計数値の管理図
5. さらなる学びに向けて
 - 5-1 記述統計学と推測統計学
 - 5-2 様々な統計分析手法
 - 5-3 書籍ガイド

『Excelデータ分析』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒LIVE/アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>